

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間 2023年10月1日～2024年9月30日)



株式会社

ヨシカワ機械

作成日: 2025年 1月20日



目次	・・・P1
①組織の概要	・・・P2～P3
②対象範囲と実施体制	・・・P4
③環境経営方針	・・・P5
④環境経営目標とその実績	・・・P6
⑤環境経営計画に基づき実施した 取り組み内容の実施状況確認及び次年度の計画	・・・P7
⑥環境経営計画の取組結果とその評価	・・・P8～P9
⑦環境関連法規の遵守確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	・・・P10
⑧代表者による全体評価と見直しの結果	・・・P11



①組織の概要

1. 事業社名及び代表者

社名 株式会社 ヨシカワ機械
代表者 代表取締役社長 関根 聡史

2. 所在地

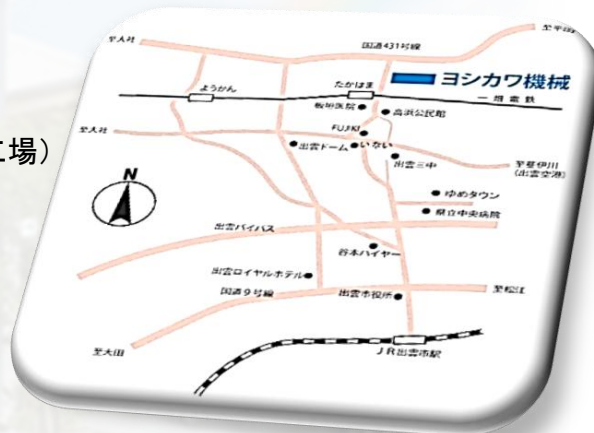
〒693-0067 島根県出雲市矢尾町433(本社)
〒699-0613 島根県出雲市斐川町神永2535番地1
B棟のB-1a,B-1b(斐川企業化支援貸工場)

3. 事業の概要

機械器具の切削加工
土木工事用器具の製造・販売

4. 事業規模

創業日 1991年10月2日
資本金 1000万円
売上高 34千万円(2023年10月～2024年9月)
従業員数 23名(2023年10月30日現在 パート等3名含む)
敷地面積 809㎡(本社)7,251㎡(斐川西工業団地内の2区画161㎡借用)
床面積 684㎡(本社)事務所延床面積184㎡、工場延床面積500㎡
161㎡(斐川企業化支援貸工場(斐川西工業団地内)B棟のB-1,B-2の2区画借用)



機械部門 (加工製品例)



土木部門 器具製品

特許取得



特許取得



実用新案取得



5. 主要設備 (設備メーカー名・機械名・型式・[台数])

東京精密

・CNC三次元測定器	SVA1000A-C6 (X850.Y1000.Z600)	[1台]
・表面粗さ測定器	480A (X100Y.Z800μm)	[1台]

森精機製作所

・CNC複合旋盤	NL2500Y/700 (Φ356 × 705)	[1台]
	NL3000Y/1250 (Φ420 × 1260mm)	[1台]
	SL-300AMC (Φ420mm × 744mm)	[1台]
	SL-25MC (Φ340mm × 530mm)	[1台]
・ターニングセンター	NLX2500 (Φ260mm × 790mm)	[2台]
	ALX2000/500 (Φ250mm × 575mm)	[1台]
・CNC旋盤	NLX2500/700 (Φ356 × 705)	[1台]
	TL-40B (Φ440mm × 1905mm)	[1台]
	SL-25B (Φ260mm × 550mm)	[2台]
	SL-25B 1,00 (Φ260mm × 1000mm)	

OKK

・NCフライス盤	HA-300 II	[1台]
・マシニングセンター	VM7 III (X1530.Y510.Z660)	[1台]
	VM53R (X1050.Y530.Z510)	[1台]
	VM43R (X630.Y430.Z460)	[1台]

森精機製作所

・汎用旋盤	SM-850 (Φ435mm × 850mm)	[2台]
-------	-------------------------	------

森精機製作所

・直立ボール	YD2-55 (Φ510振り550、MT4)	[2台]
--------	------------------------	------

アマダ

・ノコ盤	HFA-300CNC	[1台]
・ユニバーサル・プレスブレーキ	SPH-30C	[1台]
・プレスブレーキ	CB-83	[1台]

キーエンス

・画像検査機	IM-7030 (X300.Y200.Z75)	[1台]
--------	-------------------------	------



6. 環境管理責任者及び担当連絡先

環境管理	責任者	佐藤 晋
連絡先	電話	0853-25-3456
	FAX	0853-25-3457
	URL	http://www.yoshikawa-ys.co.jp/
	E-mail	yosikawa@topaz.ocn.ne.jp

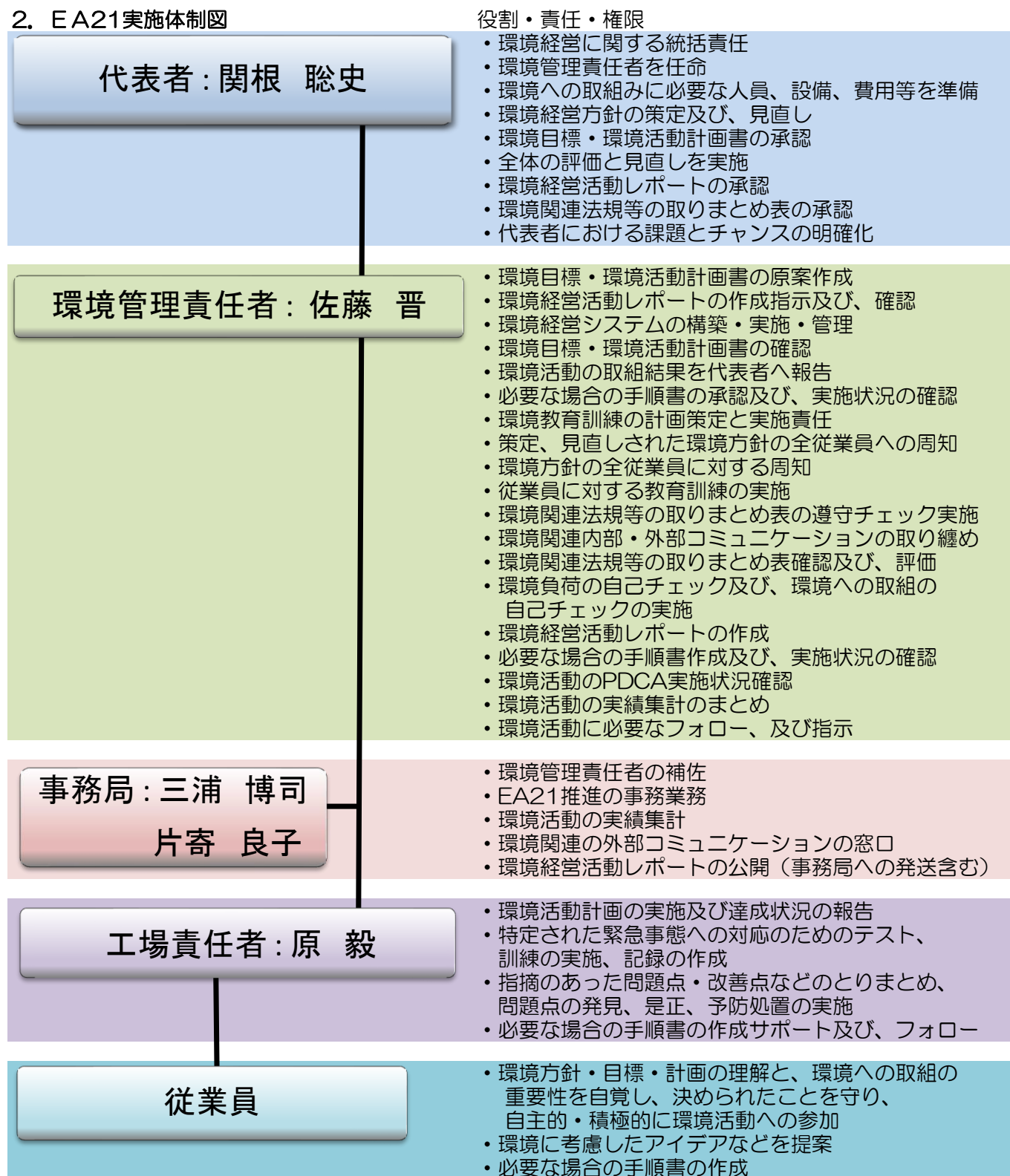
②対象範囲と実施体制

作成者/作成日：三浦/2023.10.02

1. 認証登録範囲

登録組織名：株式会社 ヨシカワ機械（本社事務所及び工場を含む全てを対象）
 事業活動：機械器具の切削加工、土木工事用器具の製造・販売
 対象範囲：全組織、全従業員を対象とする
 対象期間：令和5年（2023年）10月1日～令和6年（2024年）9月30日

2. EA21実施体制図





エコアクション21
認証番号0003938

環境経営方針

基本理念

当社は、機械器具の切削加工及び土木工事用器具の製造・販売を主な事業としています。当社のすべての事業活動の範囲において環境に及ぼす影響を考え、全従業員が製品品質のたゆまぬ向上と、環境マネジメントシステムの継続的改善を通して循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社の事業活動における環境への影響を認識した上で全従業員が責任を持ち、EA21環境経営システムを構築・運用し環境への負荷の低減に努めます。その為に次のテーマを重点事項として、定期的に環境目標を計画、設定、確認評価、見直しを繰り返し、環境経営活動に対し、自主的・積極的・継続的・効果的に取り組みます。

1. CO2排出量削減の為、電気使用量の低減、化石燃料の節約。
2. 廃棄物量の削減のため、不良品や削りカスの削減、廃棄物の適正な処理、リサイクルの促進。
3. 水使用量の削減のため、節水。
4. 社内で使用する資材・部材のグリーン購入を進める。
5. 化学物質使用量の削減・化学物質の適正な管理につとめる。
6. 生産又は消費活動及び製品に係わる環境関連法規、その他条例・協定などの要求事項の遵守。
7. 環境経営の課題とチャンスを活かす環境経営活動に努める。
8. 5S活動を徹底し、環境意識の高さが品質を高める教育を進める。
9. SDGs「持続可能な開発目標」に賛同し、よりよい社会を目指す。

この環境方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、環境活動レポートは、一般に開示します。

制定日 2008年 10月 1日
 改訂日 2021年 2月 18日
 株式会社 ヨシカワ機械
 代表取締役



株式会社

ヨシカワ機械

関根 聡史

④環境経営目標とその実績



作成者/作成日：三浦/ 2024.11.24

				過去実績		実績	目標		
環境経営 目標項目	内訳	単位 実績値÷ 売上額	年度	R3年	R4年	R5年 (当該年度)	R6年	R7年	R8年
			年月	R3/10～ R4/9	R4/10～ R5/9	R5/10～ R6/9	R6/10～ R7/9	R7/10～ R8/9	R8/10～ R9/9
			目標	前年度 -1%	前年度 -1%	前年度実績 -1%	前年度実績 -1%	前年度 -1%	前年度 -1%
二酸化炭素 排出量の削減	購入電力	kWh／千万円	目標値	7,772	7,193	5,797	6,147	6,085	6,025
			実績値	7,266	5,856	6,209	－	－	－
	灯油	L／千万円	目標値	169	170	149	102	101	100
			実績値	172	150	103	－	－	－
	ガソリン	L／千万円	目標値	27	30	34	37	36	36
			実績値	30	34	37	－	－	－
	軽油	L／千万円	目標値	57	38	25	39	38	38
			実績値	38	25	39	－	－	－
	総量 (注)	kg-CO2/千万円	目標値	4,683	4,347	3,731	3,687	3,650	3,614
		排出量総量 (kg-CO2)		154,117	129,214	129,214	－	－	－
	kg-CO2/千万円	実績値	4,391	3,769	3,725	－	－	－	
中国電力 排出係数			0.521 (調整後)	0.545 (調整後)	0.545 (調整後)	－	－	－	
達成率(%) 総量目標/総量実績			107%	115%	100%	－	－	－	
廃棄物 排出量の削減	一般 廃棄物	kg/千万円	目標値	125	102	102	101	100	99
			実績値	103	103	102	－	－	－
	産業 廃棄物	kg/千万円	目標値	3,996	4,759	3,254	3,308	3,275	3,242
			実績値	4,807	3,287	3,341	－	－	－
達成率(%)			84%	145%	97%	－	－	－	
水使用量 の削減	水使用量	㎥／千万円	※1目標値	15	15	11	11	11	11
			実績値	11	11	9	－	－	－
	達成率(%)			138%	138%	122%	－	－	－
化学物質 使用量の 削減及び 適正管理	切削油	kg／千万円	目標値	52	50	57	59	59	58
			実績値	51	58	60	－	－	－
	潤滑油	kg／千万円	※2目標値	74	74	34	59	59	58
			実績値	49	34	60	－	－	－
達成率(%)			127%	154%	76%	－	－	－	
自らが生産・ 販売する製品 に関する環境 経営目標	梱包用 ビニール類	kg／千万円	目標値	41	35	22	25	25	24
		kg／千万円	実績値	35	22	25	－	－	－
	ダンボール 類	kg／千万円	目標値	112	95	67	73	72	72
			実績値	96	68	74	－	－	－
	上質紙	kg／千万円	目標値	10	10	14	14	14	13
			実績値	10	14	14	－	－	－
	達成率(%)			116%	147%	91%	－	－	－
総合達成率(%) (平均値)			114%	131%	97%	－	－	－	

④中国電力の2022年度調整後排出係数 0.545(kg-CO₂/kWh) を使用して算出。※1.水使用量目標値は平成30年度実績値の維持とし15m³/千万円とする。

※2.潤滑油目標値は、H30年度実績(74kg/千万円)を基準目標とする。

⑤環境経営計画に基づき実施した取組 内容と実施状況確認及び次年度の計画



作成者/作成日：三浦/2024.11.25

PDCAサイクル

①二酸化炭素排出量の削減 目標 3,731 kg-CO2/千万円 実績 3,725 kg-CO2/千万円 達成率 100%

分類	目標 達成率	取組内容（・：継続、★：新規）	確認 判定	次年度 計画	次年度取組重点項目
二酸化炭素排出量の削減	電気 5,797 kWh/千万円 93%	- 稼働率アップと加工不良撲滅。 - エアコン設定温度順守の注意喚起。 - エアコンフィルターの掃除。 - 晴天時の間引き照明。 - エアー漏れ点検。 - 土曜日、祝日の作業機械の絞り込み	△ ○ ◎ ◎ ○ ○	継続 継続 継続 継続 継続 継続	「加工不良の撲滅」、「エアコンの適切使用」「間引き照明」により、無駄な電力使用を削減。
	ガソリン 34 L/千万円 91%	- 外出時にまとめて用を済ませる。 - アイドリングストップとエコドライブ継続。 - 配達コースの見直しを図る。	◎ ◎ ○	継続 継続 継続	エコドライブ運転を心がけ、渋滞時間帯を避け効率良く回る。
	軽油 25 L/千万円 63%	- 斐川工場への往来の効率化。 - 配達時間のラッシュ時を避ける。 - 各社納材日の同日調整依頼。	△ △ ○	継続 継続 継続	往復回数を減らし、渋滞時間帯を避け効率良く回る。
	灯油 149 L/千万円 144%	- 冬季 灯油使用量の節約。 - ボイラーの温度設定を適時調整する。	○ ○	強化 継続	しっかり防寒対策をしながら、外気の流入を最小限に抑える。

②廃棄物排出量の削減 目標 3,356 kg/千万円 実績 3,443 kg/千万円 達成率 97%

廃棄物の削減	一般廃棄物 102 kg/千万円 100%	- 梱包材のラップ・ダンボールの緩衝材等の再利用に取り組む。 - 段ボール屑は、梱包用に使用する。 - シュレッダー屑のサイクル（緩衝材）利用。	◎ ◎ △	継続 継続 継続	梱包材のラップ、段ボール等のきれいなものは緩衝材等に再利用していく。
	産業廃棄物 3,254 kg/千万円 97%	- 材料ロス撲滅に取り組む - 丸棒材からの削出しを低減させる為、パイプ材・铸造材への変更を促す。 - 材料発注ミス、重複発注を無くす。 - 不良削減に取り組む。	○ ○ ○ △	継続 継続 継続 継続	不良を減らす事。それがエネルギーの無駄を削減することにつながり、何より無駄な時間を取り戻すことになる。

③水の使用量の削減 目標 11 m³/千万円 実績 9 m³/千万円 達成率 122%

水道水	11 m ³ /千万円 122%	- 切削水供給方法を引き続き改善 - 手洗い時の水の出しっぱなしに注意。 - 植木散水管の水量調整	○ ○ ○	継続 継続 継続	ジェル状手洗い洗剤の意味を考え、洗い流す時のみ水を使用する。
-----	-----------------------------------	---	-------------	----------------	--------------------------------

④化学物質使用量の削減 目標 91 kg/千万円 実績 120 kg/千万円 達成率 76%

切削油	57	- 補充する際、入れ溢しの無いように補充作業に努め、使用量削減する。 - 切削油のろ過後再使用する。（ボール盤）	◎	継続	切削油、重滑油共に機械にとって必要なもの、適時適量メンテナンス優先
潤滑油	34 kg/千万円		◎	継続	

⑤自らが生産・販売する製品に関する環境経営目標

目標 103 kg/千万円 実績 113 kg/千万円 達成率 91%

ビニール kg/千万円	74 kg/千万円	- 防錆及び緩衝材ビニールの再利用。 - 指示書等の袋、梱包用袋を再利用。	◎ ◎	継続 継続	再利用できるものは、積極的に利用し、新規購入量を少しでも減らす。
ダンボール		- ラップ梱包を最小限に使用する。 - 切れ端等緩衝材として再利用へ進める。	◎ ◎	継続 継続	
※ 上質紙購入量 14 kg/千万円		- 資料のデータ保管によるペーパーレス推進。 - 資料作成時は、A4一枚に作成する。 - 裏紙使用の推進。	◎ ◎ ◎	継続 継続 継続	裏紙使用とコピーの白黒印刷を徹底する。

確認判定：◎よくできた、○まあまあできた、△あまりできなかった、×全くできなかった

※目標を設定しなかった重要度の高い環境負荷として、上質紙購入量を設定し、環境活動計画を実施。

⑥環境経営計画の実績、取組結果とその評価

(期間：2022/10/1～2023/9/30)

作成者/作成日：三浦/2023.12.25

I. 当年度の取組の結果とその評価

以下、判定基準は ○…目標達成 △…目標値未達成、95%以上達成 X…目標値95%未満とする

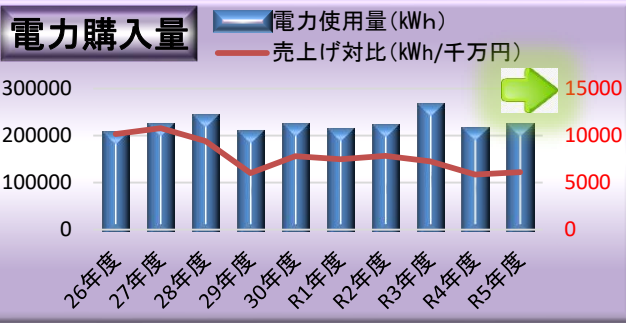
① CO2排出量の削減(CO2排出量の削減取組結果は下表の通りです。)

目	目標値(A)	実績値(B)	A/B	判定
CO2 排出総量 (kg-CO2/千万円)	3731	3769	99%	○
電力の削減 (kWh/千万円)	5797	6115	95%	△
灯油の削減 (L/千万円)	149	102	146%	○
ガソリンの削減 (L/千万円)	34	34	100%	○
軽油(L/千万円)	25	39	64%	X



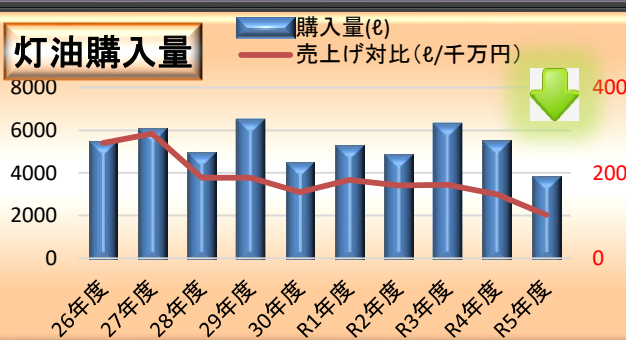
電力購入量の削減

目標：売上げ対比前年度より1%削減する。
取組：・照明器具は全てLEDに交換済み。
・不良撲滅に努め不必要な稼働を削減する。
・省エネコンプレッサへの交換済み。
・エアコンの設定温度確認とフィルター清掃。
・土曜、祝日出勤時の不使用設備の絞り込み。
・工場の二重屋根設備、シャッターに内扉設置。
評価：使用量及び売上対比でも前年の+4%になりました。
改善：こまめに照明を消す習慣を身につける。



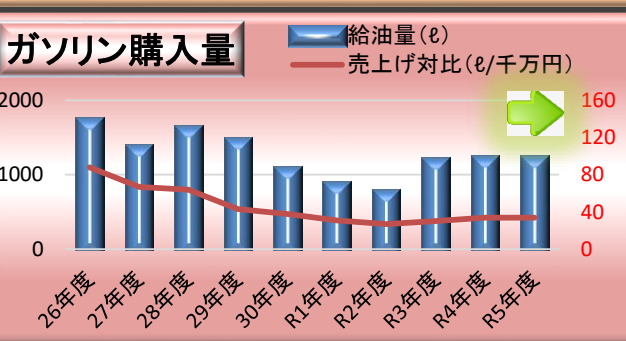
灯油購入量の削減

目標：売上げ対比前年度より1%削減する。
取組：・現場ストブは、休憩時には消火する。
・温水器の温度設定を季節ごとに設定する。
・休憩時は、できる限りまとまって休憩する。
・日中気温が高くなれば、温度切替を行う。
・給油時に入れ過ぎて溢れないようにする。
・春先のストーブ終了時期の見極めを早くする。
評価：暖冬により大幅に使用量は減り、前年比33%減。
改善：出入りは小さい入り口を使用する。



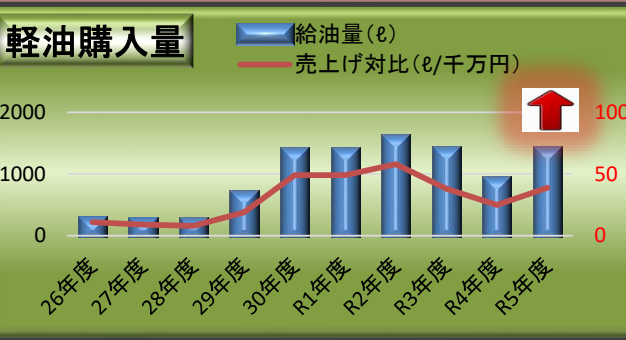
ガソリン購入量の削減

目標：売上げ対比前年度より1%削減する。
取組：・社用車は軽自動車に変更済。
・車使用時は、複数用件をこなすようにする。
・配達用件は、トラック便に便乗させる。
・エコドライブ運転を心がける。
・忘れ物の無いように、事前準備する。
・リフト作業を効率よく取り回しする。
評価：長距離移動等により使用量は11L増えた。
売上げ対比で0.2(L/千万円)の微減。
改善：リフトの積荷をまとめて下ろす工夫をする。



軽油購入量の削減

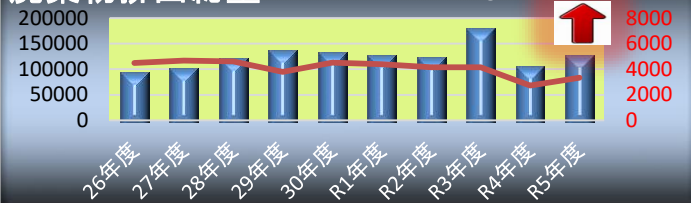
目標：売上げ対比前年度より1%削減する。
取組：・エコドライブ運転を心がける。
・忘れ物の無いように、事前準備をする。
・配達コース、配達時間の効率化をはかる。
・不要荷物を降ろし、走行負荷を減らす。
・まとめて配達できるように、出荷集中させる。
・各社納材日を同日になるよう依頼調整する。
評価：工場往復の頻度が多くなり前年比+56%急ぎ品の度に往復するようになるので無駄発生。
改善：余裕ある作業で進められることが重要。



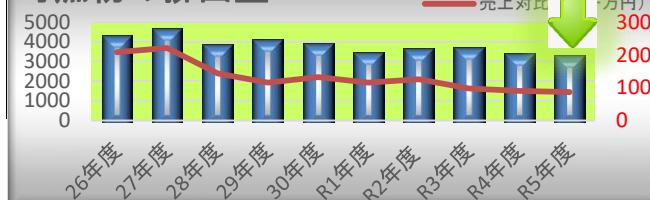
② 廃棄物排出量の削減(廃棄物排出量の削減取組結果は下表の通りです。)

項 目	目標値 (A)	実績値 (B)	A / B	判定
可燃ゴミ (kg/千万円)	102	87	118%	○
金属くず (kg/千万円)	3254	3256	100%	○
廃棄物排出総量 (kg/千万円)	3356	3343	100%	○

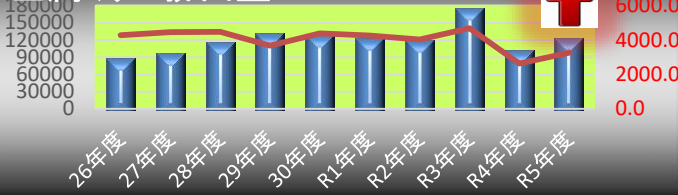
廃棄物排出総量



可燃物の排出量



金属くず 排出量



・可燃ゴミ排出量は、前年度より90kg削減された。売上対比3kg/千万円の削減となった。

・金属くずの排出量は、前年より22683kg増加。売上対比623kg/千万円増となった。

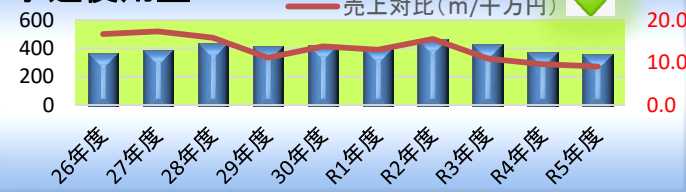
③ 総排水量の削減・省資源(水資源投入量の削減取組結果は下表の通りです。)

水道使用量

項 目	目標値 (A)	実績値 (B)	A / B	判定
水資源投入量の削減 (m³/千万円)	11	9	122%	○

※水道使用量は目標値15 (m³/千万円) 以上下げることは難しいと判断し、15 (m³/千万円) を固定目標値としてきたが、11 (m³/千万円) も可能。植木散水配管を施し、晴天日に使用することで節水。

水道使用量



④ 自らが生産・販売する製品に関する環境経営目標

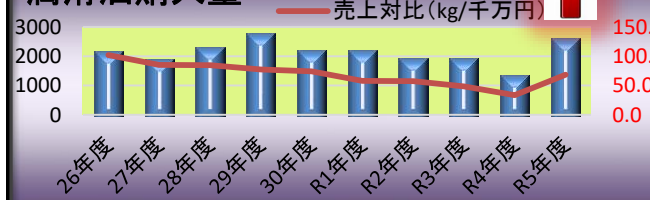
項 目	目標値 (A)	実績値 (B)	A / B	判定
切削油の購入量 (kg/千万円)	57	58	100%	○
潤滑油の購入量 (kg/千万円)	34	69	49%	×
梱包用ビニール類の 購入量 (kg/千万円)	22	25	87%	×
ダンボール類の購入量 (kg/千万円)	67	74	91%	×
上質紙購入量 (kg/千万円)	14	14	100%	○

切削油購入量



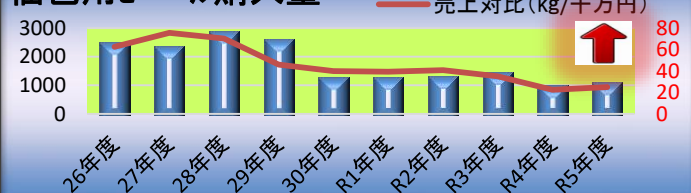
・切削油の使用量は昨年同様。

潤滑油購入量



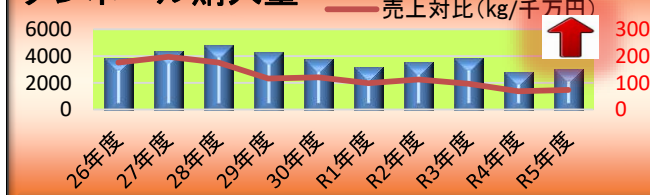
・切削油使用量はペール缶61缶分の増加となった設備交換及び定期メンテ入替による使用量増。

梱包用ビニール購入量



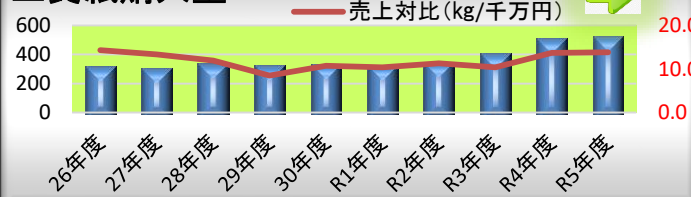
・ビニール類の使用量は95kg増。売上対比3 (kg/千万円) 増となった。

ダンボール購入量



・ダンボール類の使用量は、220kg増となり、売上対比で6 (kg/千万円) 増となった。

上質紙購入量



・コピー用紙の使用量は前年より10kg増。売上対比0.1 (kg/千万円) 増となった。

⑦環境関連法規等の遵守の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

作成者/作成日：三浦/2024.10.25

環境関連法規への違反、訴訟はありません。
又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

規制と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
水質汚濁防止法	事故時の届出及び必要な措置の実施	遵守
浄化槽法	維持管理基準の順守、法定点検の実施等法令遵守	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正管理、適正排出に関する法令遵守	遵守
資源有効利用促進法	パソコン廃棄時の規定遵守	遵守
家電リサイクル法	家電製品廃棄時の規定遵守	対象無し
自動車リサイクル法	自動車廃棄時の規定遵守	対象無し
消防法	指定可燃物等の届出(注)	遵守
労働安全衛生法	有害物を譲渡する場合の規定遵守	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品（業務用エアコン）の管理規定の遵守 （簡易点検の実施と、チェックシート保管）	遵守

（注）1. 消防法関係に該当する危険物第4類の引火性液体を保管・使用しているが、指定数量の1/10未満であり消防署への届出対象外である。

尚、環境省、経済産業省、島根県より通達の有った「ポリ塩化ビフェル（PCB）使用製品及びPCB廃棄物の期限内処理に向けて」に関する、PCB廃棄物となる製品及び廃棄物は、事業所内に於いて創業時より確認時まで設置及び保管していない事を電気工事会社と共に確認した（2017.11.13）。遵守評価として「該当しない」とした。（該当する要求事項としては、技術基準適合命令及び改善命令）

⑧代表者による全体評価と見直しの結果

		代表者	環境管理責任者
評価及び見直し日	2025年 1月 15日（水） PM3：30～		
評価及び見直し場所	2F 休憩室		
評価及び見直し参加者	関根社長（リモート）・佐藤部長・原部長・三浦・片寄（記）		
提出資料名	(1) 環境経営方針（2023年度版） (2) 実施体制図（役割、責任、権限） (3) 環境経営目標とその実績 (3) 環境経営活動計画の取組結果と、その評価 (4) 次年度の取組内容 (5) 経営に於ける課題とチャンス		
環境管理責任者からの報告		代表者による見直し	
【全体評価】 ・CO2排出量の削減は売上対比で見て、前年度の横ばいであった。灯油使用量は減ったものの軽油使用量が跳ね上がった。 ・稼働日の改革必要性。現在土曜日でも交替体制にて稼働させているが、土曜休日は、一斉に休むことで、電力消費を抑えることも必要ではないか。 ・出荷場の二重扉設置により、冷氣低減効果あり。		【環境経営方針】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ・変更なし	
【活動評価】 ・各自が取り組み内容を理解し、節約に工夫をして取り組んでいました。 ・月初めの5S活動も相まって、作業環境も維持されている。		【環境経営目標】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ・変更なし	
【法令順守】 ・対象期間中、当社に関わる法令違反はなかった。		【環境経営計画】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ①5S活動 ②電力使用の削減 ③廃棄物の削減と分別 ④省エネ意識改革	
【二酸化炭素排出量削減】 ・個人の技術向上によって不良削減させること。 ・温度管理によってCO2削減につながった。 ・		【実施体制】 変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 ・変更なし	
【コミュニケーション】 ・出荷場の防寒扉の設置により、隙間風が気にならなくなった。		【総評】 ・前年実績－1％目標は達成したようだが、CO2排出量の削減量が昨年度とほぼ変わらず、限界と思っている方もいるかもしれないが、目の前の作業を直視し、さらに探求すれば、まだ無駄を発見できる。その可能性を、限界と思って諦めることなく、突き進んでいただきたい。 ・土曜日出勤体制については、新体制に合わせ改革しているところだ。休日も増やしていくので効率よく作業しないと、受注先様にご迷惑をかけることになるので、不良を減らし、5S活動での整理、整頓等、作業しやすい作業環境を維持する様に。	
【改善への提案】			
【課題とチャンス】 ・人員確保。 ・受注先拡大と受注増。			